

## 昭和46年度 農村保健

### 対策関係事業について

県厚生部公衆衛生課

昭和46年度において、「住みよい富山県をつくる」柱のもとに衛生行政関係で展開を予定される農村保健対策関係事業は、種々あるがそのうちの主なものを紹介する。

#### 1. 農村保健状況実態調査

昭和44年度 1カ所（富山市新保地区）、45年度 6カ所（立山町新瀬戸校下、大沢野町下夕地区、婦中町小長沢地区、高岡市戸出地区、氷見市大境地区、庄川町種田校下）において、所轄保健所、農業改良普及所、市町村、農業団体等の協力によって実施し、豊山漁村における健康の実態を把握するために実施してきたものである。

44年度事業については、「農村保健状況実態調査報告書」として、又本誌に「農夫症の調査」として報告した。45年度事業については、実施保健所を中心にとりまとめ中である。

46年度においても 6カ所で健康調査、栄養調査を中心に実施し、実態の把握を行ない、対策の樹立に資しようとするものである。

#### 2. 食生活改善体力づくり推進事業

##### (1) 健康づくり栄養教室の開催

地域、業態等により栄養状態の格差がみられるので、地区組織活動を強化し、健康増進をはかるためリーダー養成を行なう。

##### (2) 体力づくりキャラバン事業

農夫症、高血圧症、農村婦人の貧血、農薬等と健康についての認識を深めるため、講演農民体操、健康、栄養相談等を農村、へき地11カ所で実施する。

##### (3) キッチンカーによる巡回指導

機動性を利用し、豊漁村60会場、へき地220会場において、正しい栄養の知識普及と食生活改善の向上をはかる。

##### (4) へき地保健栄養対策

地区の栄養診断と栄養改善講習会を 200カ所で実施する。

#### 3. 成人病予防事業

循環器疾患死亡率の高い10地区を特別対策地区に設定し、健康診断等対策事業を推進するとともに、県厚生連の農村健康管理指導、農村胃がん検診事業に対し補助する。

#### 4. 移動保健所事業

公衆衛生上特に問題のある地区に保健所活動を浸透させ、地区住民の健康の保持及び増進を図ることを目的として、64地区において70回健康相談（個別健康診断及び保健指導）及びこれに伴う試験検査、衛生教育、栄養改善指導、食品、環境衛生相談並びにこれらに伴う試験検査等を実施する。

#### 5. へき地医療対策

無医地区における巡回診療（内科、歯科）を県立中央病院等に委託して 13地区、167日間実施する。

へき地医療連携い事業として、上市厚生病院が上市町白萩地区等で実施されている事業、又へき地診療所運営費等の補助を実施する。更にへき地医科大学設立の県負担金も見込んでいる。

#### 6. 環境衛生対策

簡易水道の建設指導、イヨシロオビアブ（オロロ）、イサギカメムシ等の生態調査研究を実施する。

#### 7. その他

山村へき地薬用植物栽培普及指導や農村に多いといわれる変形性指関節炎の健康調査、栄養環境状況調査を実施する。